

第6期計画策定に係る基本的な考え方について（案）

資料1

【基本理念（案）】

高齢者が健康で生きがいをもって活躍を続けられるとともに、いつまでも住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる奈良県をめざす

実現に向けて
↓

奈良県の課題

- ① 団塊の世代が後期高齢期に達する2025年を見据え、県内すべての市町村において「地域包括ケアシステム」を構築
 - ・地域における医療及び介護を総合的に確保
- ② 「なら健康長寿基本計画」の歯車の一つとして、健康づくり・生きがいづくりを推進し、男女とも健康寿命日本一を実現

【施策展開の3本柱（案）】

1. 地域包括ケアシステムの構築

たとえ介護が必要になっても、地域の実情に応じて、可能な限り住み慣れた地域でその有する能力に応じて日常生活を営むことができるよう、医療、介護、介護予防、住まい、及び自立した日常生活の支援が包括的に確保される「地域包括ケアシステム」の構築を県内全市町村で推進する。

2. 介護人材の確保及び介護保険制度の着実な運営

高齢化の進展に伴う要介護者の増加等により介護ニーズが増大する中、高齢者を社会全体で支える「介護保険制度」を持続的かつ円滑に運営できるよう、必要な介護人材の確保を図るとともに、介護サービスの充実、質の向上を図る。

3. 高齢者の生きがいづくりの推進

高齢者が、介護を要せず、いつまでも元気にイキイキと暮らし続ける「健康寿命日本一の奈良県」をめざし、介護予防を意識した健康づくりに取り組むとともに、高齢者の積極的な社会参加の促進を図り、生きがいづくりを推進する。

【「施策の展開（素案）」の概要】

1. 地域包括ケアシステムの構築

○地域におけるネットワークの整備

支援が必要な高齢者を地域全体で支えるネットワークの整備を推進するとともに、その中核的な役割を担う地域包括支援センターの機能強化を図る。

○在宅医療・介護連携の推進

医療的ケアが必要な高齢者の増加に対応するため多職種間での情報共有など医療・介護の連携強化を図るとともに、地域の診療所等を中心に在宅における医療的ケアの推進を図る。

○在宅介護サービスの充実

自宅で介護を受けたいという希望を叶えるため地域密着型介護サービスの普及促進を図るとともに、介護家族の負担軽減を図るため、介護家族への支援の取り組みを推進する。

○生活支援サービスの充実

高齢者世帯のニーズに応えるため民間事業者等との連携による日常生活支援を充実するとともに、地域の多様な主体による高齢者の安心・安全を支えるサポート体制の充実を図る。

○認知症高齢者への対応の充実

認知症高齢者の介護に関して困らないよう認知症に関する正しい知識の普及を図るとともに、認知症高齢者を地域で支えるため認知症にかかる医療・介護サービス基盤を整備する。

○暮らしやすい住まいづくり・まちづくりの推進

高齢者が安心して暮らせるよう、高齢者の身体の特性に配慮した住まいの充実を図るとともに、多様なニーズに対応した高齢者のためのまちづくりを推進する。

2. 介護人材の確保及び介護保険制度の着実な運営

○介護人材の確保、魅力ある介護職場づくり

今後ますます増加が見込まれる介護需要に対応するため優れた介護人材の育成・確保を図るとともに、働きやすく、魅力的な介護職場づくりを推進する。

○介護保険制度の着実・円滑な運営

介護保険制度の持続性を維持できるよう介護保険制度の着実な運営を図るとともに、介護サービス基盤など介護サービスの充実と質の向上を図る。

3. 高齢者の生きがいづくりの推進

○健康づくり・介護予防の推進

健康で充実した生活が送れるよう介護予防を意識した健康的な生活習慣の推進を図るとともに、体や脳を動かすスポーツ活動・文化活動の推進を図る。

○社会参加の促進

高齢者の外出やコミュニケーションを促進するため、地域社会と交流を図る活動の推進とともに、これまで培った知識や経験を活かした地域社会に貢献する活動の推進を図る。

「奈良県高齢者福祉計画および第6期介護保険事業支援計画」の施策体系について(第5期との比較)

